

## 有限会社 島田食品

認定テーマ名：埼玉県産在来大豆「白光」を使用した「大豆素材」の開発とそれを使った「無添加で日持ちがする」スイーツ等の開発・販売

### 1. 認定事業の現況

本認定事業では、埼玉県産在来品種大豆（白光）を活用し、スイーツの材料を開発し、それを組み合わせたスイーツを開発・製造・販売に取り組んできた。スイーツには基本となる材料があり、それらの組み合わせにより、「プリン」「大豆チーズケーキ」「シフォンケーキ」「焼き菓子（大豆バー）」といった多様な商品へ展開してきた。自然食関係の販路に提供するため、「保存料や消泡剤を使用しない」「10日前後の日持ちがする」「原材料のトレーサビリティが可能」という納入基準をクリアした商品を開発しており、現在13種類を展開している。

また認定事業を始める前は卸売取引が中心であったが、本事業は小売事業への展開を図ることを目的としていること、既存の豆腐工場内にて新規の機械等を置くスペースがないこと、アレルギー対応などの観点から、自社敷地内に直売所兼豆腐スイーツ工房を設置し運営を行っている。

なお認定事業で取り組んだスイーツ商品の現在の販売先は、直営店のほか、大地を守る会、ナチュラルハウス、ビオマーケット、こだわりやなどで行っている。

【左上：有機豆乳を使用したプリン・レアチーズ（一部）、左下：大豆バー、  
右：直売所兼スイーツ工房（テレビ取材時）】



### 2. 今後の展望（見通し）

認定事業については自社店舗の他、自然食品系列の小売業向けに販売を行っており、安定的な売上高・収益確保を築くまでに至っている。また大手飲食チェーン店よりスイーツの製造委

託を受けるまで発展している。今後も引き続き商品ラインナップの拡充と継続的な運営していく計画である。

### 3. 認定を目指した経緯

(有)島田食品は、国産大豆を使った豆腐や油揚げを製造しており、主にこだわりを持った小売店（生協や自然食品宅配、高級スーパーなど）に卸販売している。しかし、豆腐商品自体の販売数量は頭打ちであり、販売単価も下降気味であった。

そのような中で、近年取引先より、「豆腐関連の健康志向スイーツ」に関しての要望が強くなっているが、①工場内に機械等を置くスペースがない、②アレルギー等の問題で使う原材料も限られている。③豆腐製造の合間に作っている、という理由で対応できていなかった。

また、卸販売を中心に事業展開してきたため、地元のエンドユーザーへの直売チャンネルを保有していない。そのため、地元消費者から要望があるものの、対応がほとんどできていない。これらのニーズに応えていくためには、「小売店向け」と「エンドユーザー向け」の両者に提案できる商品の開発と、豆腐関連スイーツの製造場所、直売場所の整備が必要である。また、スイーツ開発をするには、トレーサビリティがとれ、かつスイーツに適する糖度の高い大豆の調達課題となっていた。

一方で、連携先である(株)VEGETA穂は、地元川越の農地を管理する不動産会社を親会社に持ち、遊休農地をゼロにする取り組みを従前から行っている中で立ち上げられた農業生産法人であり、川越周辺地域の農業者に対して農地活用を啓蒙することを事業の背景に持っている法人である。減農薬栽培や特殊栽培（潮田式農法）による先駆的な取り組みを立ち上げ時から行っており、グループ会社で管理している遊休農地を使用し、野菜や大豆の生産を行っており、耕作面積を徐々に増やしている。しかし、減農薬栽培など、手間暇かけた生産方法を行っているにもかかわらず、そのほとんどが市場出荷であるため、販売価格に反映されていない。そのため、なかなか利益率の改善や規模拡大をスムーズに行えずにいる。安定的にまとまった量の取引を行える加工会社を開拓し、農産物の生産拡大を行える体制をつくるのが課題となっている。

そのような中、穀物の卸販売を行う埼玉糧穀(株)の引き合わせにより、(有)島田食品と(株)VEGETA穂が出会い、お互いの経営資源を活かしながら、お互いの課題を解消していくため、連携し、認定を目指すこととなった。

### 4. 利用した中小機構の支援策

中小機構の支援策としては認定計画のブラッシュアップの他、商品開発にあたってのフードコーディネーターや食品専門業者等の紹介の他、定期的な訪問によるフォローアップ支援等を利用してきた。また地域のちからコレクションへの出展を通じて出展ブースや商品に対する評価やアドバイスを受け、商品開発のブラッシュアップに活用した。



## 5. 企業概要

事業者名	有限会社島田食品		
本社所在地	埼玉県富士見市東大久保163		
ホームページアドレス	<a href="http://www.shimada-foods.co.jp/">http://www.shimada-foods.co.jp/</a>		
設立年月	昭和49年5月		
資本金	3,500千円	従業員数	29名
売上高	全体344,864千円、認定事業の売上高 20,000千円		

※平成29年4月30日現在

## 6. 認定事業の概要

テーマ名	埼玉県産在来品種大豆「白光」を使用した「大豆素材」の開発とそれを使った「無添加で日持ちがする」スイーツ等の開発・販売
テーマの概要	埼玉県産在来品種大豆（白光）を活用し、スイーツの材料を開発し、それを組み合わせたスイーツを開発する。スイーツには基本となる材料があり、それらの組み合わせにより、「プリン」、「ケーキ」、「焼き菓子」「和菓子」といった多様な商品へ展開していく。
認定期間	平成24年7月1日～平成29年4月30日